

peer

ぴあ応援ブック

Vol. 5

児童養護施設・里親家庭で暮らす

夢を持っているきみへ。
これから夢を持つきみへ。

2023 Summer

ぴあ応援ブック制作チーム

CONTENTS

学生のお金事情

アドバイス～学生の視点～

児童養護施設職員さんにインタビュー

長期休暇の過ごし方

新しいぴあ活動の紹介



※「ぴあ(Peer)」は、仲間を意味します。

みんな気になる!

実際どうなってる?

1か月のお金と生活!

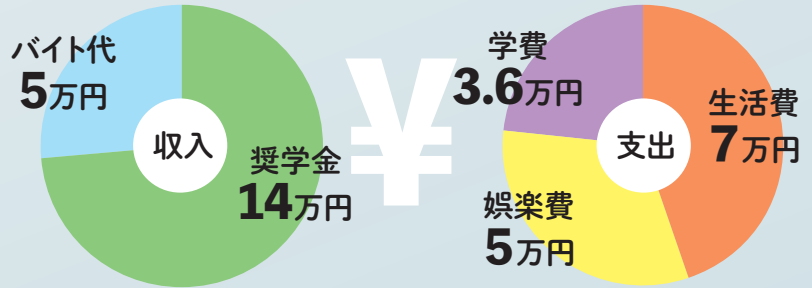
私立大学・3回生 一人暮らし 男性の場合

平日のタイムスケジュール

7:00	起床
7:30	朝食
8:00~17:00	学校
19:00	夕食
20:00~	お風呂・課題
22:00	自由時間
24:00	就寝

休日のタイムスケジュール

8:00	起床
8:30	朝食
9:00-15:00	バイト
18:00	夕食
20:00	お風呂
23:00	就寝



この3つを意識しています!

- ★家計簿アプリで収支を管理、見直しすること
- ★バイトの収入を娯楽費に充てること
- ★できるだけ自炊をすること



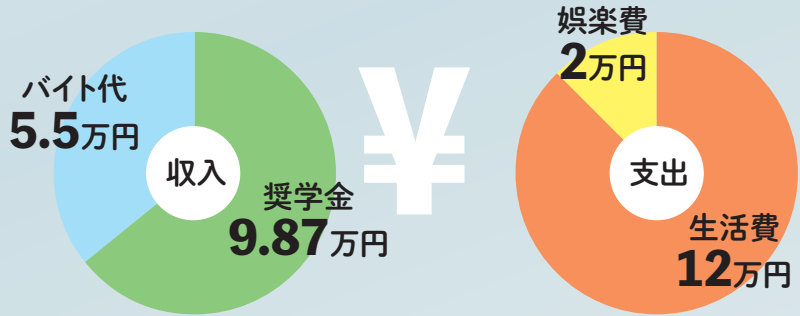
国立大学(夜間)・3回生 一人暮らし 女性の場合

平日のタイムスケジュール

7:30	起床・準備
8:00	移動
9:00	バイト
16:00	移動・準備
18:00	学校
21:30	夕食・お風呂
23:00	余暇
24:00	就寝

休日のタイムスケジュール

10:00	起床・家事
14:00	準備
15:00	外出
22:00	お風呂・余暇
24:00	就寝



この2つを意識しています!

- ★家賃などはなるべく翌月分まで確保しておくこと
- ★車検など定期的にかかる大きな出費は計画的に貯めておくこと



応援生とは

児童養護施設・里親家庭等進学応援金(奨学金)を受け、全国の大学や専門学校で学ぶ約70人です。
この冊子は、その中の有志9人が中心になって制作しています。

こんな時

応援生に児童養護施設内のルールで悩んでいたことを聞いてみました!

どうしてた?

仕方ない...

学年に関係なく門限が17時半と早かったので、放課後に遊んだりできなかったけど、しょうがないと思って我慢していた。



高校生になるまでスマホは持ってなかったし、所持できるようになっても22時以降は職員さんに預けないといけなくて不便だった。



外泊禁止だったので友達の家にお泊まりに行けなかった。

自転車通学の距離に応じてお小遣いの加算があって不公平だと思っていた。

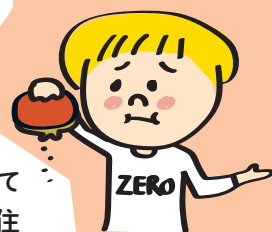
でも、やっぱり

勉強は自室ですという決まりだったけど、部屋から共有スペースが近くて小さい子の声気になるので、職員さんに相談して受験期やテスト前は勉強に集中できる場所を用意してもらったり、土日は図書館を利用したりしていた。



お小遣いは職員さんが管理していて、必要な時にその都度出してもらうシステムだったので自由にお金が使えなかった。でも、退所時にまとまった出費があったので、今はあまり使わずに貯金しておいてよかったと思う。

お小遣いが少なく友達とあまり遊べなかった。



施設の規則を周りに理解してほしいと思いつつも、施設に住んでいることを友達には打ち明けられなくて隠していた。

なんとかかしたい!

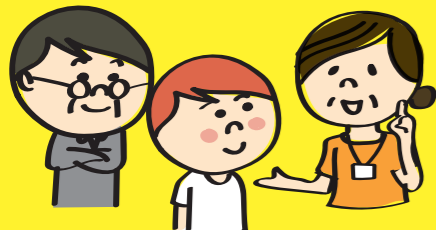
Advice!

児童養護施設では集団生活をおくる上で一人ひとりが守らなきゃいけないルールがたくさんあるか
と思います。時には、窮屈きゆうくつに思うことや、一般家庭の友人と比較して落ち込むこともあるかもしれません。私自身施設で生活していた当時は常にそういった悩みを抱えていました。もし悩んでいるなら、1人で抱え込まず、施設の職員さんなど周りの大人に相談してみるのもおすすめ。必ずしも意見が通るとは限りませんが、何のためのルールなのかを聞いたり、勇気を出して悩みを自分から発信してたりすることで、対処方法が見えてくるかもしれません。



児童養護施設の職員さんにインタビューしてみた!!

Interview



前回の第4号ではぴあ応援フェス・ラジオとの共同企画で、社会的養護で暮らす中高生が社会に発信したいことをお届けしました。その中で「施設のルール」や「施設を出た後のサポート」などについての意見がありました。それらの意見をもとに、今回は一番近くで子どもたちのことを考えている大人を代表して、児童養護施設の職員さんにインタビューをしました。



Q. スマホ関係や学校などの契約は誰が保証人になっていますか?

A. スマホは契約から支払いも含めて子どもの保護者にしてもらうようにしていますが、難しい場合は施設長が契約し、子どもが支払うようにしています。中には、子どもの兄弟が契約から支払いまでしていましたが、途中で支払えなくなり、子どもが支払う場合もありました。賃貸契約についてもスマホと同様で、基本は保護者ですが、難しい場合は施設長またはNPO法人、ボランティア団体が代理となります。

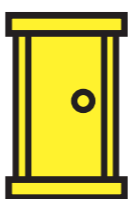
応援生から 施設を出てからも面倒なのが契約関係です。特に契約の保証人は誰がなってくれるのかというところであまり人が多くいます。施設長以外にも保証人になれるNPO法人があります。サポート内容は各団体で異なるので、自分でいろいろと調べてみてください。



Q. 「自立する」とはどういうことですか?

A. 自立しているということは、人に上手に甘えられる、適度に依存できることだと思います。施設にいる間にそのようなことができるようにたくさん頼って欲しいです。

応援生から 人に頼れることは簡単なようで難しいことです。自分の弱みや悩みを見せられる人、相談できる人を見つけることが大切だと思います。施設を退所したあとも、生活・学校・仕事などで悩みや困ったことがあれば、職員さんに相談してみるといいと思います。相談できる人や場所があることは覚えておいてください。



Q. 自立したあとの子どもとの関わりはどうしていますか?

A. 施設を退所した子と連絡を取り合うことは重要視しており、担当だった職員に限らず、仲がよかった職員や前任の担当など、子どもが話しやすいと思える職員を通して連絡は欠かさないようにしています。また状況に応じて困っている子どもにも協力することもあります。しかし、連絡が途切れるとそこで関係性も途切れてしまうという現状はあります。

応援生から 施設を出てもしっかりサポートしてくれるのか不安なことが多いと思います。職員さんと連絡を取っていれば相談できる相手がいるので安心です。それでも不安な場合は、アフターケア(施設等を離れ、生活・進学・就職などの不安に対して相談にのる)を行っている団体に相談してみるといいと思います。



Q. ルールを作るときに意識していることはありますか?

A. ルールを作る時、子どもの立場や気持ちを考えて作る、ということ意識して作っています。一般家庭に比べるとルールは多いかもしれないですね。最近は、子どもの意見をルールに取り入れるようになってきています。みんな一律ではなく、その子にあったルール作りになっていると思います。

応援生から 子どもの声を取り入れながら、環境や時代に合わせて、ルールができることはいいことだと思います。職員さんが子どもに寄り添っていき形でルールを考えてくれてうれしかったです。職員さんは相当悩みながらルールを作っています。一見鬱陶しかったり、邪魔だなと感じたり、疑問に思うルールがあったら、なぜそのルールを作ったのか、経緯や理由などを一度職員さんに聞いてみるのもいいと思います。



Q. 子どもたちと接する上で大切にしていることはありますか?

A. さまざまな子どもがいるので、普段から会話などのコミュニケーションをとることで、しっかりと子どもが考えていることや、どう思っているかを聞いて、寄り添い、理解することを心掛けています。

応援生から 子どもたちから本心を聴くことはとても大変なことだと思います。低学年の子や心に傷を負った子、コミュニケーションが苦手な子もいるのでさらに難しいです。そんな中でも、お話をうかがった職員さんはしっかりと子どもたちに寄り添うことを意識されていると思いました。



Q. 進学と就職。どちらの道に進んでほしいですか?

A. 施設出身だと進学率が周りより低めだけれど、「施設だから」と進学を諦めて欲しくないです。もちろん生きていくことだけで大変だという子もいるけれど、夢を目指して生活して欲しいです。迷っている、何をしたいかわからないという子には、「進学してみたら?」と伝えています。措置延長※もあるので、自分を見つめてから施設を出ることができたらいいなと思います。

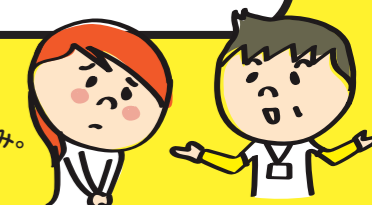
応援生から 進学することで見えてくることもあるので、進学を視野に入れることは大切だと再認識できました。進学と就職とを悩む人は多いと思います。就職を希望する子、進学を希望する子、どちらも将来の夢を叶えるべく前進して欲しいです。そのためには措置延長※を有効活用していくことはとてもいいことだと思います。大学生の私でも将来についてすごく悩んでいるのですから、中高生ならばなおさらじっくりと自分と見つめ合って決める時間は重要です。



さいごに

今回、お話を聞いて、職員さんが日頃から子どもたちのことを、どうしたらいいのかといろいろと考えてくださっていることがよく分かりました。インタビューにご協力いただいた職員さんありがとうございました。

※措置延長とは・・・高校を卒業しても本人にとって必要であれば、今まで通り施設や里親家庭で生活ができる仕組み。

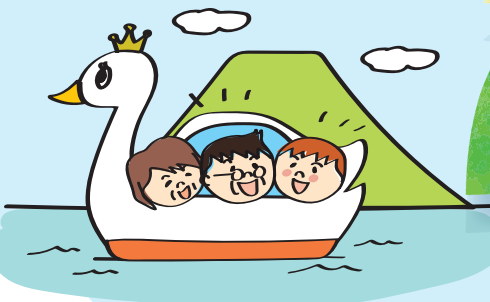


高校生時代の 長期休暇の過ごし方

皆さん、とても暑い日が続きますがいかがお過ごしでしょうか?
このページでは応援生が高校生時代に、
どのように長期休暇を過ごしたのかについてご紹介します!

里親家庭での過ごし方

- 里親さんに北海道や沖縄などたくさん旅行に連れて行ってもらいました。特に榛名山(はるなさん)でスワンボートに初めて乗って足がクタクタになるまで漕いで、里親さんと笑いあったことが思い出に残っています!



施設での過ごし方

- 施設の寮のみんなで川や動物園に行きました。寮で最年長の僕にとって他の子は弟や妹のように可愛く、一緒に行けてとても楽しかったです!今でも時々みんなに会いに行きます。
- 施設の取り組みで24時間テレビの募金活動に参加して、お店の前で募金を呼びかけるボランティア活動をしました。その活動を通して、募金に協力してくださる人々の優しさにふれ、感動しました!



頑張ったこと、受験に向けての取り組み

- 私は吹奏楽部だったので、コンクールで全国大会に進むという目標に向かって朝から夜までひたすら練習したことが思い出です!
- 受験期は、塾とアルバイトの両立でかなり忙しかったです。それまでぼーっとすることが多かったため、その忙しさに人生のやりがいみたいなものを感じていました。
- 高3の長期休暇は進学のために施設の先生に協力してもらい、小論文の練習や奨学金申請のための準備をしていました。



社会的養護で暮らす皆さんへ

応援生の長期休暇の過ごし方は参考になりましたか? やりたいことは一人ひとり異なると思いますが、キャンプなど大人数での行事は施設生活ならではの特権ですよ。また里親さんと密な時間を作れるのが今がチャンスかもしれません! ぜひ、あなたの置かれた環境でできることを精一杯楽しんで頂けたらと思います♪

受験生の皆さんへ

夏季休暇には待ちに待った夏期講習があります。この長い休暇を有意義に過ごし、志望校合格へのステップアップに繋げることが大切です。夏季休暇中の目標を立てて取り組んでください。神頼みだけでは、受験はうまくいきません。実力はつくれます。受験生の皆さん、頑張ってください!!

今年から新しい活動が
3つスタートしました!

新しいプロジェクトを紹介します!



進学情報シェアチーム



私たち進学情報シェアチームは、奨学金情報や進学体験をはじめとした進学情報を、施設や里親などの社会的養護で暮らす中高生やそこに関わる大人たちに共有(シェア)していく活動を行っています。具体的には、児童養護施設や里親会さんなどを私たち応援生が訪れて、セミナーを通して情報をお届けします。今年度は、夏頃に中高生向けのセミナーを1回、冬頃に大人向けのセミナーを3回開催します。このチームは、今年度から活動を始めました。そのため、今年度は挑戦の年になります。1人でも多くの中高生の背中を後押しできるように頑張っていきたいと思います!

サイトチーム



初めまして!
”新しい”奨学金検索サイトオープンに向け活動しているサイトチームです!
なにが”新しい”検索サイトのか、簡単にご紹介します!

①常に新鮮な情報を皆さんにお届け!

検索してみたら去年の募集要項だった…。そんなガツカリを防ぐため、各奨学金団体さん自身で情報を更新していただき、常に新鮮な募集情報をお届けします!

②検索以外のこともできちゃいます!

奨学金の仕組みや、当事者の声など、様々なコラムを配信予定です。当事者や、支援に関わる皆様はもちろん、学校関係者の方や、社会的養護に関わり始めた方も、奨学金について深く知るきっかけに!

現在サイト企画と協力団体さんへの呼びかけを行なっています!

応援していただけると嬉しいです(^^)

サイト完成をお楽しみにしてください!

権利ノートチーム



巣立ちの権利ノートとは…

児童養護施設や里親家庭などの社会的養護で暮らす子どもたちは、著しい環境の変化に直面し、大きな不安の中にいます。そうしたときに、自分自身の権利について正しく伝え、安心して生活を送れるように支援するツールが「子どもの権利ノート」で、各自治体や児童養護施設などで制作されています。そこで私たちは、社会的養護経験者と専門家による「巣立ちの権利ノート」の作成を考えました。全国の社会的養護で暮らす高校生(一部中学生を含む)が巣立つ際に自身の権利や状況について正しく知り、自分の意思を基に養育者と話し合い、必要な支援を受けながら未来を拓くためのツールとなる権利ノートの作成を目指しています。

夢を持っているきみへ。
これから夢を持つきみへ。

次号もお楽しみに!



夏の暑さもまだまだ続きます。熱中症に気をつけてこまめに水分補給をしてください。最後まで読んでくださり、ありがとうございました!(ぴあ応援ブック制作チーム一同より)

INFORMATION

10月14日・15日オンラインで開催します!!

ぴあ応援フェス

ぴあ応援フェスとは、社会的養護の環境下で暮らす中高生の夢を応援するオンラインイベントです。中高生の皆さんは、何を学びたいか、どのような職に就きたいか、イメージが湧かない人や、実際に進学しても、社会的養護の環境から卒業したらお金はどうなるのか、など多くの悩みや不安、疑問を抱えていると思います。このような問題を解決、サポートできるように、実際に進学した先輩からの話や、相談をできるブースなど、さまざまな内容を揃えています。また、学生だけでなく職員などの大人を対象にした内容も準備しています。ぜひ気軽に参加していただければ嬉しいです!よろしくお願いします!

ぴあ応援ラジオをYouTubeなどで配信中!

ぴあ応援ラジオは、企画から出演、イラスト作成などを学生が中心となって行っています。主な活動内容は、社会的養護で育った私たちの経験や社会的養護に関わりのあるゲストのインタビューを、YouTubeを通してラジオ形式で発信することです。また、大学の学食で楽しく話をしているかのような雰囲気で大生活について話し合ったり、奨学金の情報も発信したりしています。このラジオは、同じような境遇にある進学や夢を目指す中高生を応援することを目的としています。多くの皆さんにお聴き頂ければ幸いです。



YouTube



ぴあ応援ブック次回制作に向けて、
ご意見、ご感想などこちらのQRコードからお送りください!



制作:ぴあ応援ブック制作チーム

ゆうご、ありさ、しょうむ、ひな、きぬよ、ゆう、かぐら、ゆうか、ふうね

デザイン:かえるぐみ

発行:朝日新聞厚生文化事業団

2023年8月発行